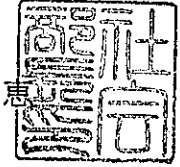




社会部(人権)発第3号
2025(令和7)年4月11日

組 長 様

社会部長
岡 田 光 恵



2025(令和7)年度「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」
人権啓発推進僧侶研修会開催のご案内について

謹 啓 慈光照護のもと、貴職におかれましては益々ご清祥にてご法義相続のことと存じます。

平素より、「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」の推進にご尽力いただいておりますこと厚くお礼申し上げます。

本研修会は、宗門における差別・人権の問題について学びを深め、自らの課題につなげることを目的にしております。

つきましては、本年度の開催要項を送付いたしますので、組において研修課題を決定のうえ実施くださいますようお願い申し上げます。特に、研修課題「み教えと差別の現実について」を実施されていない組におかれましては、本年度必ず学習いただきますようお願いいたします。

なお、開催助成金の交付につきましては、下記をご参照のうえ、手続きいただきますようお願い申し上げます。

記

- ① 開催報告書《様式③》(別紙添付)については、教区より社会部へ交付申請する手続きの関係上、できる限り開催日より1カ月以内に教区へご提出ください。3カ月を超えての交付申請は認められませんので、ご留意ください。
- ② 《様式④》《様式⑤》(別紙添付)については、(一財)同和教育振興会の「講師派遣」を利用する場合にご利用ください。申請手順の詳細については、別紙要項をご参照ください。
- ③ 報告書は、鉛筆・フリクション(消えるボールペン)等、第三者が消すことのできる筆記具を使用しての記入はしないでください。
- ④ 助成金交付については《様式③》の研修会報告書の提出をもって交付されます。書式データが必要な場合は、宗派公式WEBサイトのトップページにある検索バーにて「社会部」と入力し、「最新ニュース」の「2025(令和7)年度「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」人権啓発推進僧侶研修会」よりダウンロード出来ます。

以 上

「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）人権啓発推進僧侶研修会
開催要項

1. 趣 旨

本研修会は、専如門主よりご教示いただきました、ご親教『念仏者の生き方』のお心を体して、「実践運動」総合基本計画に基づき、宗門における差別・人権問題の課題を教区・組の取り組みを通して学びを深めて、自らの課題につなげることを目的にしております。

私たちの周りにある社会問題や意識の多様化から起こる人権の課題に対して、具体的な取り組みを実践することは、『宗制』に定められた「自他共に心豊かに生きることのできる社会」の実現につながります。

特に、研修課題③「み教えと差別の現実について」は、本研修会当初から課題とされていた、差別の現実に向き合い、親鸞聖人のみ教えを現実社会の中でいかに発揮するかという「教学的な課題」に対する重要性から、全ての組においての学習を奨励しております。未だ研修課題として実施されていない組は、今年度必ず学習していただきますようお願いいたします。

本年度も御同朋の社会をめざして、ともに実践運動を進めてまいりましょう。

2. 研修課題

① 宗門におけるジェンダー平等推進について

宗門における、これまでの男女共同参画への取り組みを継承しつつ、ジェンダー平等の取り組みを推進するため、宗報へ掲載のジェンダー平等推進委員会よりの「中間報告」(2024年10月号掲載)、「答申書」(2025年1月号掲載)を踏まえた研修会を行う。

② 過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて

過去帳等の記録は個人情報であり身元調査に利用されないよう『「過去帳等取扱基準」及び新「差別事件糾明のための方途」学習会用冊子』を用いた研修会を行う。

③ み教えと差別の現実について（*本課題未開催組必須）

参考資料『み教えと差別の現実』を用いて、改めて經典における用語を通して差別問題を学ぶ。（女人往生、根欠、栴陀羅等）

④ 教区又は組が独自に設定する差別・人権問題について

＜参考例＞

- (1)同和問題（部落差別解消推進法） (2)感染症・ハンセン病と差別問題について (3)外国人差別(ヘイトスピーチ解消法) (4)障害者差別（障害者差別解消法） (5)性の多様性と人権 (6)災害と人権

3. 開催期間

2025年度内の開催とします。（できるだけ年内に開催ください）

4. 開催場所

組内寺院・教務所（別院・教堂）・沖縄県宗務事務所・その他

5. 開催方法

年度当初に教区(特区)と組で協議・相談のうえで開催してください。

○研修会の開催形式は、各組での開催を原則とします。

（但し、地域的な諸事情を考慮し、2組・3組合同での開催も可能です。）

○開催にあたり、多くの僧侶へ参加いただけるよう、ご周知ください。

6. 講師出講制度について

[1]教区・組内の講師

- ・実践運動に関する研修であることから、なるべく組内僧侶を中心に、又は教区内僧侶などをもって講師としてください。但し、研修課題③をされる場合、教区主催の参考資料にかかる研修会を受講した方を講師としてください。
- ・講師は課題について、話し合い（班別討議）など、参加者の発言が得られるよう配慮してください。設定した課題によっては、外部講師も予想されますが、その場合においても同様の配慮を行ってください。

[2]一般財団法人同和教育振興会の講師斡旋

- ・研修会開催にあたり、同和教育振興会の講師派遣制度を利用することができます。この場合、講師にかかる交通費は同和教育振興会が負担いたしますが、謝礼・宿泊費・その他講師招請にかかる経費は主催者側(教区又は組)の負担となります。なお、講師の指定は出来ません。

同和教育振興会の経費(交通費)負担には限度がありますので、希望の際は、早めに教務所・沖縄県宗務事務所を通じて同和教育振興会へご連絡ください。なお、予算執行後は講師紹介のみとなり、講師にかかる交通費等の経費については主催者側の負担となりますことご了承ください。

《同和教育振興会の講師派遣利用にかかる事務手続きについて》

- (1)別紙申請書《様式④》（同和教育振興会宛提出用）を利用ください。
- (2)原則として、開催日の2カ月前迄に申請を行うものとします。
- (3)都合により要請に応じられない場合があるため、少なくとも第2希望まで派遣希望日を設定してください。
- (4)研修会開催日から2カ月以内に、別紙報告書《様式⑤》を同和教育振興会宛提出ください。

[3]宗派からの講師派遣制度の利用【研修課題④をテーマにした研修を行う場合】

- ・統合企画室の「研修会講師派遣等にかかる対応」を利用することができます。ご利用の際は統合企画室へお問い合わせください。

7. プログラム

基本日程（案）【150分設定】

時間配分	プログラム	備 考
15分	開会式 *勤行 *挨拶	趣旨説明含む
60分	問題提起	講師
35分	話し合い（班別討議）	座長・記録
5分	休憩	
30分	全体討議 *話し合い報告 *全体討議 *まとめ	討議司会 講師
5分	閉会式 *挨拶	

※参加人数により内容を変更することも可能です。

8. 助 成 金

研修課題①～④いずれかの内容を行った研修に対し、助成金を交付します。

- (1) 研修会終了の組・沖縄県宗務特別区へ1回に限り助成金を交付します。
- (2) 組・沖縄県宗務特別区開催に対して5千円を助成します。
- (3) 2組合同開催に対して、1万円を助成します。
- (4) 3組以上の合同開催に対しては、1万5千円を上限とします。
- (5) 教務所へ報告書が提出された後に教務所より申請されます。研修会開催助成金は教務所より各組へ送金されます。

9. 開催後の事務手続き・報告書の提出について

(1) 組における事務

※原則として開催日の1カ月以内に、教務所・特区事務所へ「報告書<様式③>」を提出ください。

※特に3月開催分については、開催後、直ちに教区へ提出ください。

※研修会のレジュメ等、提供可能な資料教材がある場合は提出ください。

※報告書は、2組以上の合同開催の場合も各組より提出してください。また報告書内の「研修をふりかえって」には、各組内よりの研修を受けて、差別・人権に関する意見・感想を詳細に記入してください。

※報告書は、鉛筆・フリクション(消えるボールペン)等、第三者が消すことのできる筆記具を使用しての記入はしないでください。

(2) 教区における事務

※組より提出の「組開催報告書<様式③>」を取りまとめのうえ、所定の申請用紙「助成金交付申請書<様式①>」「教区開催報告一覧<様式②>」を用いて、月ごとに社会部宛提出し、交付申請を行う。

※報告書は合同開催の場合も含めて、各組より提出のこと。

※社会部宛、PDFデータによる提出も可能です。その場合、原本については教務所・特区事務所にて保管ください。

<教区における事務・注意事項>

※年度、一括の交付申請は認められない。

※開催日より2カ月を超えての交付申請は、必ず教務所長名による副申書を添付のこと。

※開催日より3カ月を超えて交付申請のあった場合は、交付されない。

※「組開催報告書<様式③>」は、教務所・特区事務所にてコピーし、各組に配布ください。尚、開催報告書は、毎年、書式を検討し若干の変更があるため、必ず当年度配布分を利用のこと。

教務所・特区事務所からの助成金交付申請に基づき、社会部にて、月ごとに事務処理を行い、各教区宛に一括して助成金を送金致します。

10. 研修資料

- (1) 「過去帳又はこれに類する帳簿の取扱基準・過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて」
- (2) 『「過去帳等取扱基準」及び新「差別事件糾明のための方途」学習会用冊子』
- (3) 身元調査拒否リーフレット（寺族向け・門信徒向け）
- (4) 人権啓発推進僧侶研修会参考資料『み教えと差別の現実』
- (5) 同朋運動ブックレット②『経典と差別』（同和教育振興会発行）
- (6) 同朋運動ブックレット⑪
『経典にみる差別語を考えるー「梅陀羅」・「女人往生」・「根欠」ー』
(同和教育振興会発行)
- (7) 『ハンセン病差別と向き合うー本願寺教団の歩みと課題ー』
- (8) 教区で独自に選定・作成した資料
- (9) 『宗報』掲載原稿

※上記の(1)(7)(9)の資料については、宗派公式Webサイト内「【過去記事まとめ】社会部<人権問題関係>よりの啓発資料のお知らせ」よりダウンロードのうえご利用ください。尚、該当ページが探しにくい場合は、宗派公式Webサイトトップページ検索ボックスより「啓発資料」と検索ください。

※(1)(3)の冊子は配布可能でありますので、当部までお問い合わせください。

11. 添付書類

- (1) 「開催助成金交付申請書」<様式①>
 - (2) 「開催報告一覧」<様式②>
 - (3) 「研修会報告書」<様式③>
 - (4) 同和教育振興会「人権啓発推進僧侶研修会講師派遣申請書」<様式④>
 - (5) 同和教育振興会「人権啓発推進僧侶研修会講師派遣報告書」<様式⑤>
- ※上記(4)(5)は、同和教育振興会宛提出

以上

《様式②》

(熊本)教区 組・ブロック「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」人権啓発推進僧侶研修会開催報告一覧 No.()

No.	組名	開催日	研修時間	会場	参加者合計	参加者数内訳(※性別毎の参加者数記載は任意)						研修課題①～④
						僧侶	〇名	男性	〇名	住職	〇名	
例	〇〇組	〇月〇日()	〇〇:〇〇	〇〇寺	〇〇名	僧侶	〇名	男性	〇名	住職	〇名	①～④から選択
						その他	〇名	女性	〇名	衆徒	〇名	
						僧侶	〇名	男性	〇名	女性	〇名	
1					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
2					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
3					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
4					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
5					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
6					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
7					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
8					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
9					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		
10					名	僧侶	名	男性		住職		
						その他	名	女性		衆徒		
						僧侶	名	男性		女性		

出席者合計： 0名

《様式③》

() 組「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」人権啓発推進僧侶研修会報告書

組名	組 (ヶ寺)	会場		
開催期日	月 日 (曜日)	参加寺院数	ヶ寺	
開催時間	時間 分 (: ~ :)	参加者内訳	男性 ()名	
研修課題	<input type="checkbox"/> ①宗門におけるジェンダー平等推進について		僧侶 ()名	女性 ()名
	<input type="checkbox"/> ②過去帳又はこれに類する帳簿の取扱について		その他 ()名	住職 ()名
	<input type="checkbox"/> ③み教えと差別の現実について			衆徒 ()名
研修講題	<input type="checkbox"/> ④教区又は組が独自に設定する人権・差別問題について		男性 ()名	
講師(役職)	()		女性 ()名	
研修形式	<input type="checkbox"/> 講義(問題提起)と班別話し合い法座・まとめ <input type="checkbox"/> 講義と全体話し合い(質疑応答含む) <input type="checkbox"/> その他 ()			
研修内容について、事前打合せをしましたか？		<input type="checkbox"/> 打合せをした <input type="checkbox"/> 特にしていない		

※□欄にチェックしてください。

研修日程			
時間	日程	時間	日程
:		:	
:		:	
:		:	
:		:	

資料教材	※使用された資料教材があればご記入ください。(教区や組独自で作成したものを含む)

◆開催後3ヶ月を超えて社会部へ交付申請のあった場合は、助成金が交付されませんので、予め、ご了承ください。

◆教区より社会部へ交付申請する手続きの関係上、できる限り1か月以内に教区へご提出ください。

◆研修内容把握のため、提供できる資料教材があれば、添付してください。

(裏面へ)

研修内容の概略（箇条書きでご記入ください。）

研修をふりかえって（研修を受けて感じた、人権・差別に関する意見・感想及び今後の課題・特記事項）

上記の通り報告いたします。

月 日

組 組 長

印

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)

人権啓発推進僧侶研修会講師派遣要綱

1. 【目的】

宗派の開催要項に基づき、御同朋の社会をめざして、ともに実践運動をすすめる

2. 【研修課題】

- (1) 宗門におけるジェンダー平等推進について
- (2) 過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて
- (3) み教えと差別の現実について
- (4) 教区又は組が独自に設定する差別・人権問題について

3. 【派遣費用】

- 会場までの交通費については当会にて負担
- 講師謝礼・宿泊費(交通機関の都合上、又は研修会日程上、宿泊費が必要な場合)については主催者側負担
- ※原則、当日出発・当日帰着可能な講師を選任いたします

4. 【派遣先】

- 教区・組に出講いたします。人権啓発推進僧侶研修会にご利用ください。
なお原則、各箇所、年度内1回のご依頼とさせていただきます。

5. 【申込方法】

- 一般財団法人同和教育振興会へご連絡ください。折り返し当会よりご連絡させていただきます。
- 申請書は、教区を通して提出頂き、お申し込みとさせていただきます。(FAX 可)
講師の指定はできかねますので、ご了承ください。
- 講師決定後、ご担当者様にご連絡いたします。ご担当者から講師に直接ご連絡頂き、内容・日程の確認をお願いいたします。

6. 【その他】

- 予算の都合上、ご依頼を頂いた時点で、交通費の負担が無理な場合には、講師のみの推薦をさせていただきますことをご了承ください。
- 研修会開催の2カ月前までにお申し込みされない場合は、講師を紹介出来ない可能性があります。
- なお事情により、研修会が中止・変更となる場合、至急に講師、また当会へのご連絡をお願いいたします。
- 開催後1カ月以内に下記まで「報告書《様式⑤》」を必ずご提出ください。

〒600-8229 京都市下京区油小路通七条上る米屋町167番地
本願寺同朋センター内 TEL:075-343-5047 FAX:075-342-2793
Gmail:doubou.center@gmail.com

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)
人権啓発推進僧侶研修会講師派遣申請書

○ 研修課題(いずれかに○をご記入ください)

- (1) 宗門におけるジェンダー平等推進について
- (2) 過去帳又はこれに類する帳簿の取扱いについて
- (3) み教えと差別の現実について
- (4) 教区又は組が独自に設定する差別・人権問題について

○ 開催日時 (候補日:数案お聞かせください)

① 月 日() : ~ :	② 月 日() : ~ :	③ 月 日() : ~ :	④ 月 日() : ~ :
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

フリガナ

○ 開催場所 (教区 組)

【住所】

【電話番号】

【最寄り駅】

線

駅

○ 研修会名

○ 対象者

○ 参加人数(概算)

名程度

フリガナ

申込み団体(教区 組)

フリガナ
代表者名前

印

連絡先(住所・寺号)	
ご担当者様名)	
電話番号)	FAX番号)
E-mail	年 月 日申し込み

以上、講師派遣の申し込みをいたします。

教務所確認 印 (個人印 可)	
--------------------	--

《様式⑤》

<主催者用>

提出日	年	月	日
-----	---	---	---

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)人権啓発推進僧侶研修会 講師派遣報告書

名 前

開催日		会場名	
時 間		教 区	
出席者	参加者 名 (内訳)		
研修課題			
日 程			
所 感			
< 特記事項 >			

※(一財)同和教育振興会宛提出